

月報

第35号



東葉警備保障株式会社

URL <http://toyo-security.jp>

発行日 2020年10月25日

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたく、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題と一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

## 「脱ハンコ」の成否はいかに



技術立国を自任してきたこの国がいかに世界のIT化の流れからかけ離れた水準にあるのかをまざまざと知らしめたのがコロナ禍で判明した情報管理システムの貧弱さでした。

最新の感染状況を紙に手書きFAXで伝達、そのデータを電卓で集計しパソコンに入力することで時間ばかりかかり誤集計も多々あったことでしょう。ハードのスペックが優秀でもシステム化する発想力と運用力の欠如が旧態依然の非効率な作業を温存させてきたのです。この事例は民より官の方が深刻です。

その歯がゆさを政府も国民も共有しなくてはなりません。新政権の目玉人事が行革大臣とデジタル大臣らしいですが、この二人が旧来の「当たり前」をどこまで排除できるかにかかっているでしょう。

そのひとつにわが国のハンコ決裁文化を見直す動きがあります。ハンコが無いとはじまらないのは役所に限らず、民間企業も学校も、或いは町内会の会合でも同じでしょう。印鑑を押して、暗証番号をつかって、指紋認証をして、本人確認の免許証を提示して、いったい「確認」のためのコストをどこまでかければ気が済むのでしょうか。

印鑑登録というアナログシステムを作り上げ、いちいち印鑑以外に印鑑証明を役所で買わされる徴税システムは簡単にはなくならないかもしれません。私は政府の「脱ハンコ」の成否に注目しています。



毎号、「マケテタマルカ」をご精読いただきありがとうございます。10月16日より各拠点で入社試験を実施しております。今後は随時、入社希望者に対し受付を致します。何卒、どんな小さなことでもお問い合わせください。誠意をもって説明いたします。

松本 隆一郎